

稲毛区地域福祉計画の推進状況について

保健福祉局 保健福祉総務課

【計画全体の推進状況等】

- 稲毛区計画は、交流の機会や居場所づくりに関する取組項目が多く、社協地区部会や地域のボランティアを中心に、活発に活動が行われています。〔類型3：交流の機会・居場所づくり〕 今後は、高齢者や子どもなど対象者を絞った交流ではなく、多世代交流や障害者との交流などの活動が多く実施されることが望まれます。
- 市の助成制度を活用し、緊急時の支援体制づくりや防災・防犯マップづくりが、社協地区部会を中心に多く実践されています。大規模災害時などは地域の力が必要であり、今後も活発な活動が望まれます。〔類型6：支援体制の構築〕
- 下記の類型においては、取組の実践が無い項目が4類型あります。区計画の見直し過程においては、他区の地域福祉計画を参考にするなどして、新たな取組項目の項目立ての必要性などを検討することも必要です。

類 型	実践が確認されている取組項目	実践が確認されていない取組項目
1. 相談体制		3－（1）－④ ころの健康についての対応
2. 情報の発信・提供	1－（2）－① 地域の情報交換の推進 1－（2）－② 回覧板での「困った欄」と施設に「困った箱」の設置 3－（1）－① 地域の情報の収集と発信 3－（2）－① 啓発の充実	3－（1）－② ぶらっと寄ることができる場での情報提供 3－（1）－③ 保健福祉総合相談窓口の活用
3. 交流の機会 居場所づくり	2－（1）－① ふれあい・いきいきサロン、ふれあい・子育てサロンの拡充 2－（1）－② 保育所（園）や幼稚園での地域交流の拡充 2－（1）－③ ごはんを一緒に食べる機会づくり 2－（1）－④ 公民館を利用した子どもの活動の充実 2－（1）－⑤ いきいきプラザ・センターでの交流 2－（1）－⑥ 学校での放課後等の子どもの居場所づくりや地域交流の実施 2－（2）－① 自治会館の活用 2－（2）－② 公民館・コミュニティセンターの活用 2－（2）－③ 子どもルームの空き時間の活用 2－（2）－④ 児童福祉センターの活用	2－（2）－⑤ 空き店舗の活用
4. 社会参加の 仕組みづくり		
5. 支援体制構築 （見守り・生活課題解決）	4－（1）－① 地域で活動している人・組織との連携・協力 4－（1）－② 元気な高齢者や子どもたちの参加による支援や見守り 4－（1）－③ 一人暮らし高齢者などの引きこもり防止対策 4－（2）－② 暮らしの助っ人隊の結成 4－（2）－③ 大学や学生も参加するまちづくり	3－（3）－① 判断能力がない又は不十分な高齢者・障害者等に対する支援 4－（2）－① コーディネート組織の設置
6. 支援体制構築 （防犯・防災）	5－（1）－① 安心カードの作成と活用 5－（2）－① 災害時対応の専門家を呼んでの講習の実施 5－（2）－② 避難訓練の実施及び避難場所の体制づくり 5－（3）－① 防犯マップの作成と活用 5－（3）－② 「子ども110番の家」の拡大・活用 5－（3）－③ 商店街企業等と連携した取り組み	
7. 人材の育成	3－（2）－② 有資格者の育成及び見守り活動	
8. 福祉教育		
9. 環境整備 （バリアフリー・交通）		2－（3）－① 交通手段の充実に向けて
10. その他	1－（1）－① 挨拶から始まる地域との関わり	2－（2）－⑥ これからできる施設などについての活用方法の提案

※太字の取組項目は、提供情報が5件以上ある項目